隔週金曜掲載

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.364
2025.6.13

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL https://wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞「わかつく」を読む会をしませんか

https://wnc.jp/works/wakatsuku

和歌山を創る新聞「わかつく」編集担当者が記事について説明するする勉強会などのご希望を承ります。わかやま NPO センターまでお気軽にお問い合わせください。

南海トラフ地震の最新の被災予測をみる（1）

今年３月末、政府の中央防災会議が、南海トラフ巨大地震の被害想定などの最新版を発表しました。ここ最近の防災対策などの状況を反映させた結果、被害は前回（2013 年）想定よりも少なく予測されましたが、それでも最悪の場合、和歌山県内では６万人を超える死者が出る想定となりました。一方で、状況などに応じて被害想定は大きく変わることも明らかに。その内容とは・・・。

南海トラフ地震における和歌山県被害想定（2025 年３月発表）

	揺　れ	液状化	津　波	急傾斜地崩壊	火　災	合　計
全壊・焼失する建物	53000 ｜ 84000	4200	16000 ｜ 51000	500 ｜ 600	1100 ｜ 38000	84000 ｜ 166000
半壊する建物	59000 ｜ 84000	12000 ｜ 19000	14000 ｜ 28000	900 ｜ 1100	ー	103000 ｜ 122000
	揺　れ	**津　波**	**急傾斜地崩壊**	**火　災**	**屋外下敷**	**合　計**
死者数（早期避難高）	1700 ｜ 5000	2100 ｜ 29000	20 ｜ 50	30 ｜ 900	0 ｜ 10	5100 ｜ 34000
死者数（早期避難低）	1700 ｜ 5000	11000 ｜ 59000	20 ｜ 50	30 ｜ 900	0 ｜ 10	12000 ｜ 62000
負傷者数（早期避難高）	21000 ｜ 43000	100 ｜ 800	30 ｜ 70	40 ｜ 1300	10 ｜ 500	5100 ｜ 34000
負傷者数（早期避難低）	21000 ｜ 43000	1000 ｜ 2400	30 ｜ 70	40 ｜ 1300	10 ｜ 500	23000 ｜ 46000

出典：中央防災会議 防災対策推実行会議・南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ報告書（2025 年３月）
「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会」において検討された複数のケースから、① 揺れについて「基本ケース」「（震源が）陸側ケース」の２つ、② 津波については東海・近畿・四国・九州のそれぞれで大きな被害が出るケース４つ、①と②をかけ合わせて 2×4=8 ケースを設定。8 ケースの各々に、冬の深夜、夏の昼、冬の夕方の３つの時季、そして平均風速の場合と風速 8m/s のシーンごとに算出された数値の最少と最大の数字を記載。早期避難の呼びかけと行動が早いケースを「早期避難高」、早期避難の呼びかけや行動が不十分なケースを「早期避難低」と表記。
数値はすべて概数のため、合計は一致しないことがある。

想定の前提条件

今回の被害想定の発表にあたり、中央防災会議は、科学的知見に基づき想定される最大規模の地震・津波によってもたらされる被害状況を示しています。次に発生する南海トラフ地震が必ずしもこの想定通りの規模とは限らないことに注意が必要です。

なお、津波に対しては、東日本大震災などの経験をもとに、住民等の避難を軸に、土地利用、避難・防災施設と組み合わせ、総合的対策が必要であるとしています。

また国民一人ひとりが、①強い揺れだけではなく、弱くても長い揺れがあった場合は迅速かつ主体的に避難すること、②建物の耐震化や家具等の固定を進めること、③初期消火に全力を挙げること、など被害を軽減する取り組みをおこなう重要性も訴えています。

被害想定の算出

今回発表された被害想定は震源の位置、季節や時間帯、風速などによって大きな差があります。

震源の想定域は東海沖から日向灘まで幅広く、また陸からの遠さも家計するため８つのケースを設定。

季節については、冬は屋外に出ている人はそれほど多くないとみられますが、夏はレジャーなど外に出ていることが多く、海水浴などで海に近い場所に滞在している人が多い可能性もあります。

時間帯については、深夜に発生した場合、多くの人が就寝中のため避難行動が遅れる可能性があります。昼に発生した場合は家屋内に滞在している人数は少ない反面、屋外にいる人が多い可能性があります。夕方であれば夕食調理などで火気を使用していることが多く、火災の危険性が高い時間帯です。

また、風が強いと火災になった場合に延焼するリスクが高くなります。

こうした条件を加味して被害想定が算出されています。和歌山県の被害想定は左表の通りで、地震が発生する場所や季節・時間帯により数値には大きな幅があります。

地震の揺れや津波、火災により被災する建物の数は少なくても約19万棟にのぼりますが、このなかで被害を抑制できる可能性が最も高いのは火災ではないかとみられます。

死傷者数は早期の避難行動の有無で想定が分かれていますが、特に津波による犠牲者は避難行動により２倍から５倍の差があります。津波から一刻も早く逃げることで被害を相当抑えることができることが示唆されています。

被害を減らすには

今回の被害想定によると、１９８１年以前に建築された建物の耐震化を適切に進めること、家具等の転倒・落下防止措置が進むことで、死者数は現時点の予測に比べて前者は約77％、後者は約66％、それぞれ減少すると推定されるとのこと。

また、地震発生から迅速に避難できるか否かで津波による死者数は大きく変わることから、住民等の自主的な避難のための意識啓発が求められるとしています。

さらに、最近一般家屋での導入が進んでいる「感震ブレーカー」の設置が進めば、地震による火災をかなり抑制でき、死者数は最大半減させることができることが期待できると予測されています。

つまり、上記にある被災想定は住民の力でさらに軽減させることができるということ。和歌山県も今回の中央防災会議の想定をベースにした県独自の被害想定の検討と防災対策を進めることを明らかにしています。地方自治体による防災・減災の取り組みももちろん大事ですが、一人ひとりの取り組みが進むことで地域全体の防災力の向上が見込めます。

東日本大震災以降、和歌山県内でも急増した自主防災組織は、十数年が経過するなかで現在は活動が止まっているところもみられるという指摘があります。いま一度、地域の防災力を高める取り組みを見直す必要があります。（志場久起）

みなさんの「地域を元気にする」活動を応援します！

和歌山県 NPO サポートセンターをご利用ください

和歌山ビッグ愛９階にある和歌山県 NPO サポートセンターは、県民のみなさまの公益的な活動を総合的に応援する施設です。ご利用をお待ちしています！

◀カラー印刷機
ポスタープリンタ▶

どちらも利用団体登録が必要です。なお、公益性のある取り組みに関する印刷に限らせていただいております。
遠隔地の方を対象に印刷代行・発送も受け付けています。

ご利用いただける団体

和歌山県内で NPO 法人、NPO・ボランティア団体、公益社団・公益財団法人、一般社団・財団法人などの組織形態で、公益性のある活動をおこなっている団体。

※ ご相談や情報収集は個人・企業の方でもご利用いただけます。

ご 相 談

- ▶ NPO 法人の設立・運営（定款変更や事業報告、役員変更等）にまつわる実務
- ▶ NPO・ボランティア団体の運営実務
- ▶ 企業の社会貢献活動等のパートナーとしての NPO 法人等のマッチング など

※ ご相談は、窓口・メール・オンライン等で承っています。来所の場合はご予約ください。

情報収集・発信

- ▶ NPO・ボランティア団体のイベント情報の収集と発信
- ▶ 助成金をはじめとした各種支援情報の収集と発信
- ▶ 法律で定められた NPO 法人の情報公開資料（事業報告書等）の閲覧・縦覧
- ▶ NPO 等に関する書籍貸し出し等

各種事務機器

カラー印刷機、ポスタープリンタ、パソコンなどをご利用いただけます（一部機器を除き、実費負担が必要です）。

会議室

会議室を無料でご利用いただけます。

※ 会議室は和歌山県ジェンダー平等推進センター “りぃぶる”、和歌山県青少年活動センターとの共用で、申込み受付と管理はジェンダー平等推進センターが担当しています。

情報ブログ・メールマガジン

当センターに届いたイベント情報や助成金等の活動支援情報はブログ、メールマガジンで発信しています。

イベント情報　助成金等情報　メルマガ配信登録はこちらから

和歌山県 NPO サポートセンター

和歌山市手平 2-1-2　和歌山ビッグ愛９階
受付時間 9:00 ～ 20:50（日曜は 17:30）
休館日：月曜・祝祭日・年末年始
TEL　073-435-5424　FAX　073-435-5425
E-mail　info@wakayama-npo.jp
わかやま NPO 広場　https://www.wakayama-npo.jp/

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

こども講談ワークショップ

日　程　8 月 9 日（土）
9 月 13 日（土）
10 月 11 日（土）
各 13:30 ～ 15:00
場　所　和歌山県立図書館
文化情報センター
ふれあいルーム
内　容　旭堂南和師匠を招き、講談について学びます。
参加費　無料
主　催　わかやま楽落会
詳細・申し込みは、katoku0716@outlook.jp、または 090-9864-1344・山本さん

このコーナーでは和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会加盟団体から提供されたイベント情報を不定期にお届けしています。